

経済指標ウォッチャー

# 日本GDP成長率(2021年10-12月期) プラス成長へ

## オミクロン株の感染拡大で再び消費が低迷する可能性も

### GDP (国内総生産) とは？

Gross Domestic Productの略で、国内において一定期間内に新たに生産されたモノやサービスなどの合計金額。その国の経済力の目安に用いられる。

前年同期や前期と比べ、どのくらい増加(減少)したのかを見ることで、国内の経済成長を推定することが可能となる。GDPの増減率を%で表したものを『GDP成長率』と呼ぶ。

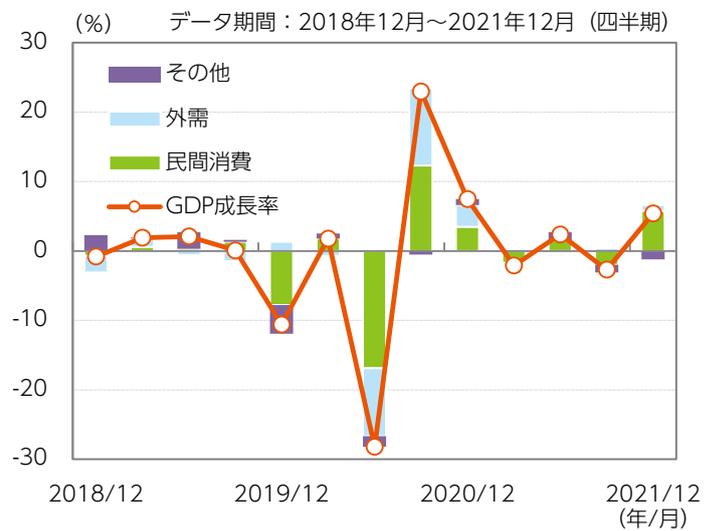
### 2021年10-12月期GDP成長率はプラス成長

内閣府が15日に発表した、2021年10-12月期の実質GDP(国内総生産)成長率(季節調整済み、1次速報値)は、前期比年率5.4%増となりました。事前予想の同6.0%増をやや下回ったものの、前四半期のマイナス成長からプラス成長に転じました(図表1)。項目別でみると、民間消費(個人消費)が最も寄与しました。2021年9月末をもって緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置が解除され、宣言期間中に抑制されていた外食や宿泊などのサービスへの需要が大幅に伸びたことが要因とみられます。また、景気回復が進む欧州や米国などへの海外向け生産が増加したことから、外需(輸出-輸入)も小幅ながらプラスの寄与となりました。

### 回復基調にあった個人消費が低迷する可能性も

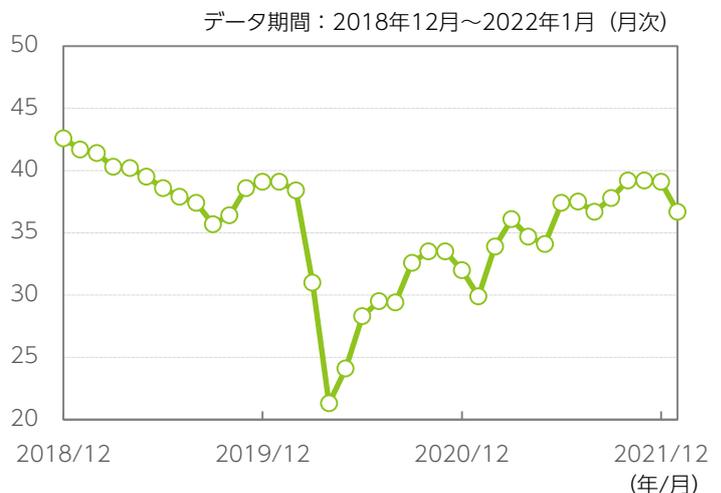
年明け以降、国内でオミクロン株による新型コロナウイルスの感染が拡大しました。他の変異株に比べ重症化リスクは低いとされているものの、足元では1日あたり死者数が昨夏の第5波を超え、一部の地域では医療のひっ迫も深刻となっています。政府は、13都県に適用中のまん延防止等重点措置の期間を3月6日まで延長することを決定しました。今後は飲食店等の営業時間短縮や酒類提供の停止などで、個人消費が再び停滞することも懸念されます。消費者の心理を示す消費者態度指数は、感染拡大を受け1月は大幅低下となり(図表2)、回復基調にあった個人消費の低迷が予想されることから、2022年1-3月の実質GDPは再びマイナス成長に転じる可能性もありそうです。

図表1：2021年第4四半期はプラス成長に回復



※実質GDP成長率(前期比年率)と項目別寄与度の推移

図表2：感染再拡大で消費マインドが低下



※消費者態度指数(2人以上の世帯、季節調整値)の推移  
 ※消費者の今後6ヶ月間の消費マインド(心理)を示す指標。景気の先行指数とされ、50を超えれば消費意欲が旺盛で、下回れば意欲が減退していることを示す。

出所) 図表1、2は内閣府のデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>